平成23年度（対22年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　23　年　5　月　26　日

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	巣立　弘志	電　話	483-1151 内線3220

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業	短縮コード	経常	3242	臨時

予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費

区　分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

し尿処理業務は，民間業者が数社で作業をしていたが，法改正により業務遂行が不可能になり，代わって財団法人八千代市衛生公社を昭和４２年に設立して，市の委託を受け業務を開始した。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

公共下水道の普及と浄化槽の設置により、し尿汲取り件数が減少している。今後も件数が減少していくことが考えられる。

総合計画の施策体系

５本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして
大項目（節）	03	環境･衛生
中　項　目	04	し尿処理
小項目（施策）	01	処理体制の整備
細　項　目	01	衛生センターの適正な管理運営
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	平成22年4月　～　平成23年3月	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	し尿汲取り利用者
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： ①し尿収集運搬業務を環境緑化公社へ委託 ②し尿汲取り申請受付業務 ③し尿汲取り手数料の賦課・徴収業務 ④過誤納金の還付 ※平成23年度に計画していること： 前年度と同じ
意図（何を狙っているのか）	し尿汲取り業務を効率的に行い、生活環境の保全を図る。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区　分			単位	２１年度	２２年度		２３年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	し尿処理人口	人	2,060	2,097	1,646	1,966
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	し尿汲取り件数	件	9,689	9,205	9,225	8,764
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	１件あたりの処理コスト	円	2,480	3,066	2,761	3,307
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業	所属名	クリーン推進課

			単位	２１年度	２２年度		２３年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	10,438	16,578	13,866	18,552
		その他	千円	14,145	12,387	12,131	11,200
	主な事業費の内訳			八千代市環境緑化公社への委託料 24,033千円	八千代市環境緑化公社への委託料 28,224千円	八千代市環境緑化公社への委託料 25,471千円	八千代市環境緑化公社への委託料 28,224千円
人件費(B)			千円	9,474	10,854.3	10,179.7	10,179.7
トータルコスト(A)＋(B)			千円	34,057	39,819.3	36,176.7	39,931.7

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理　　由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている	上位の施策「衛生センターの適正な管理運営」を推進するためし尿処理事業を実施しており結びついている。
		☐ 結び付くが見直しの余地がある	
		☐ 結びつきが弱い・ない	
		☐ 評価対象外事項	
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	し尿汲み取り世帯が存在するため。
		☑ 達成していない	
		☐ 評価対象外事項	
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある	市の固有事務であるため。
		☑ 可能性はない	
		☐ 評価対象外事項	
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結びつく。
		☐ 見直す必要がある	
		☐ 評価対象外事項	
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある	し尿処理手数料の見直しについては，今後とも適正な手数料について検討をおこなっていく。
		☐ 効率性向上の可能性がある	
		☐ 両方可能性がある	
		☑ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	
		☐ 臨時的任用職員等の活用	
		☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し	
		☐ 受益者負担の見直し	
		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称 1 ／ 実施主体（所管部署）
		☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 2 ／ 実施主体（所管部署）
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある	
		☐ ない	

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業	所属名	クリーン推進課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☐ 改革・改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☑ 現状のまま継続

将来的には民間委託や広域化の検討を進めるが、し尿の汲取りは、市の固有事務であるため現状のまま継続する。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

成果＼経費	削減	不変	増加
向上	☐	☐	☐
不変	☐	☑	☐
低下	☐	☐	☐

将来的には民間委託や広域化の検討を進めるが、経費的には現状を維持していく。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

し尿処理手数料の納入窓口の拡大(コンビニ等)

所属長コメント

汲取り世帯の減少に伴い、事業についての見直しを今後行う必要があると考えられるが、現時点では未定である。

評価調整委員会評価

- ☐ 改革改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☑ 現状のまま継続

担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。